

2025年度 慶應義塾大学 一般選抜
文学部 外国語（フランス語） 解答例

それぞれの設問について、出題の意図は以下の通りである。

I 黒人文化を愛した詩人・小説家、ブレイズ・サンドラルの『黒人選集』から出題した。平易なフランス語で書かれた物語文を速読し、内容を十分に把握した上で、適切に要約する能力を問う設問である。語彙、表現には特に難しい箇所はないが、知らない単語や表現に出会った場合も、前後の文脈や全体の流れを考慮して読解することが求められている。やや長めではあるが、筋は追いやすい物語なので、二人の男の友情がどのように展開していくのかは、本文を読み進めていけば理解できるであろう。

II フランスで活躍する中国生まれの詩人・小説家、フランソワ・チェンが、中国の絵画的言語表現について述べたエッセーの序の部分から出題した。語彙、表現、構文ともに特に難しい箇所はないが、適切でわかりやすい日本語に訳すことができるかを問う設問である。下線部以外も参照しながら丁寧に読むことにより、中国において絵画がどのようなものであるのかを把握できるはずである。

III ドイツ語と日本語で作家活動をする多和田葉子が、母語の外に出ることによって展開していく、言語表現の可能性について書いたエッセーの一部から出題した。まず日本語のテキストの内容を正確に把握した上で、適切なフランス語に置き換えることができるかを問う設問である。例えば、何回か出てくる「姿」という言葉をどのようなフランス語で表現するか、また、どのような構文を使えばより自然なフランス語の文章になるか、などの工夫をする努力が求められている。

以上